

ジョージアの概要

(Georgia)



北に大コーカサス山脈を境にロシアと、南にトルコ、アルメニア、アゼルバイジャンと接し、西に黒海に面するジョージア(2015年にグルジアから国名呼称変更)は、古くからアジアとヨーロッパの十字路として栄えてきました。

時差は日本から5時間遅れています。黒海沿岸は夏暑く、冬は比較的温暖ですが、東部は大陸性気候に近くなるため非常に寒くなります。

日本からの観光客はまだ少ないのですが、一度訪れると虜になってしまうといわれる魅力を秘めた国です。首都のトビリシで注目のアトラクションは、近年開通した旧市街から高台を結ぶロープウェイ。道中や高台から眺めるトビリシの歴史ある旧市街の景色は最高と評判です。

ジョージアは、肥沃な大地に恵まれた有数のブドウの産地で、「ジョージアワイン」は伝統的な製法が世界的にも高く評価されています。また、長寿の国ジョージアを支える健康の秘訣ともいわれる「ミネラルウォーター」は、飲みやすくミネラル豊富で体に良いといわれており有名です。

ジョージア出身の有名人には、力士の「栃ノ心」、「黒海」があげられます。



「ジョージアワイン」をはじめ、串焼きのバーベキュー「ムツヴァディ」など、旅人を惹きつけるジョージア料理が多くあるのもこの国の魅力です。



「限りなく天国に近い教会」と呼ばれるツミンダ・サメバ教会は、ジョージアを訪れたら絶対に見逃してはならないといわれる絶景スポットです。

基本情報

1. 面積 6万9,700平方キロメートル
(日本の約5分の1)
2. 人口 390万人
(2018年：国連人口基金)
3. 首都 トビリシ
4. 言語 ジョージア語
(コーカサス諸語に属する)
5. 県内市町の姉妹都市・友好都市 なし

